

No.106

2018(平成30)年
11月1日
発行
浄土真宗本願寺派
和歌山教区日高組
責任者
藤本使朗



拝まない者も

おがまれている

拝まないときも

おがまれている

東井義雄
とういよしお



仏前結婚式 新郎 埜崎教信さん 新婦 唯衣さん 10/14 由良町吹井覚性寺にて

ヒダカくん・ひかりちゃん
『御文章』のお話 その10
永原智行

ひかりちゃん 蓮如さんが吉崎を出てどこへ行ったの。

ヒダカくん 今の大阪府を中心に活動するんだよ。ま

ずは、枚方に落ち着くよ。その後、高槻、大坂と淀川を

中心にして、堺までとにかく布教にまわれるんだ。蓮如

さんは健脚(けんきやく)で、生涯で東は松島(宮城県

から西は有馬(兵庫県)まで出かけているよ。

ひかり 大阪は、八百五十八寺ぐらい真宗の本願寺派の

お寺があるらしいわね。和歌山は？

ヒダカ 二百七十九寺だよ。東本願寺や他の派のお寺は

あと五六ヶ寺しかないんだ。この差は現在の大阪府と和

歌山県の人口の差があるのかもしれないけど、蓮如さん

の活躍がそのままのこったんだ。

ひかり それはどうして。

ヒダカ 和歌山のお寺の分布をみると御坊から北に二百

六十寺あって、田辺や新宮にはそんなないんだ。和歌

山県の北部は南部に比べて人口が多いのもあるけど、蓮

如さんが72歳の時に枚方を出発し、堺経由で海南まで来

ているよ。大阪南部や和歌山にいる有力な門徒との関係

を深めて、海南の藤代まで来て、紀三井寺などをお参り

して帰っているよ。

ひかり 紀三井寺で何をしたの。

ヒダカ 物見遊山。余裕があったんだね。しかしこの紀

州に来たのは後の本願寺に深いものを投げかけるんだ。

ひかり えっ。どうして。

ヒダカ 和歌山には、有力な大名がいなかったこともあ

って、地侍の下に五つの「組」があって、町を支配して

いたんだ。この人達が全部真宗の門徒となったんだ。彼

らが、後の「雑賀衆」で、得意の鉄砲で織田信長(プロ

の戦闘集団)と11年も戦うんだからね。

ひかり ふーん。

ヒダカ 蓮如さんにとって、本願寺の再興の夢があった

んだよ。京都の山科に寺内町を構えるよ。今の本願寺と

同じように親鸞さまの御影堂と阿弥陀堂があり、その周

りに全国各地からお参りをする人のための宿舎(多屋)

や商店や町屋ができ、一つの町ができたんだ。ゼロから

出発した蓮如さんが、滋賀・北陸の門徒を基盤に仏教王

国・本願寺教団を築くんだ。(2面下段に続く)

法話 他力本願

「自力」や「他力」という言葉は、聞いたこともないという人は一人もいないくらいよく知られている言葉ではないでしょうか。しかしながら、浄土真宗において「他力本願」という言葉は、み教えの根幹に関わる最も重要な言葉でありますので、あらためて考えてみようと思います。

一般的にいわれる他力本願という言葉は、日常会話の中では「他人任せにする」といった依存主義的な意味でよく使われています。特に今年6月に行われましたサツカーワールドカップ予選において、日本が決勝リーグに勝ち上がるために、自身の試合が負けているにもかかわらず、予選2位通過のために他国の試合結果にまかせて、自身はあえて攻撃をせず負けることを選んだ事に対して、ニュースや新聞でもこの他力本願という言葉が多く使われておりました。

では、親鸞聖人がお勧めくださった、他力本願とはいったいどういうことなのでしょう。

「他力」や「自力」の言葉の語源は仏教にあるものです。まず「自力」とは、自らの力によって仏になることを目指す道であり、凡夫といわれる私たちには困難で閉ざされた道です。つぎに「他力」とは、他人の力を略して「他力」と考えている人が多いと思いますが、親鸞聖人は『教行信証』に、「他力といふは如来の本願力なり」とお示しくださっております。本願は誓願とも言われます。誓願とは阿彌陀如来さまが私たちにに向けて建ててくださった

た願い、誓いをいい、その約束によって私がお浄土へ生まれていく教えが他力本願なのです。法然聖人は、自力で善行が積めない者であっても、「阿彌陀仏の救いを信じて、ただ念仏をとなえるだけでよい。」という専修念仏の教えを説かれました。そして親鸞聖人は、その教えをさらに深められ、「極楽浄土に往生するためには、条件や手段として念仏をとねえることは、自力の計らいである。阿彌陀仏の本願力が、いまここにも届けられていることを、ただ有難く信じることで、自ずと仏に導かれ、救われる。どんなものでも往生できる。」とお示し下さいました。

浄土真宗の他力本願は、阿彌陀さまの大きな本願力のはたらきによって救い取られていく教えですから、その言葉の使い方や、救済の構図を見たときには、確かに依存主義のように見えるかも知れません。

しかし、その実は、今まで述べたとおり、依存主義どころか、それこそ私自身が、阿彌陀様から信心を得て念仏する身にならせて頂くという営みがあつてこそ、初めて出遭うことの出来る教えなのです。(鈴木章吾)

法悦クイズ

ホームページ、またはハガキに住所、氏名、年齢、電話番号、所属寺紙面についてのご感想、ご意見等を明記の上下記までお送り下さい。

〒649-1221 和歌山県日高郡日高町志賀2988 妙願寺内 日高組事務所 宛

☆抽選で10名の方に粗品を進呈します。

締切 平成31年1月20日(必着) 発表は次号です

Q. 現在の報恩講の形を作られたのは？

- 次の①～③の中から一つ選んで番号を書いてください。
① 親鸞聖人 ② 覚如上人 ③ 蓮如上人

105号の正解は「②仏弟子目連さんの亡母を救った話」でした。
【解説】お盆は「孟蘭盆経」に出てくる仏弟子目連尊者の故事に由来します。亡き母が餓鬼道に墮ちたことを知った目連さんは、母を救おうとご馳走を口に近づけました。すると、ご馳走は火となり燃えてしまい、さらに母を苦しめました。そこで、お釈迦様に助言を受けた目連さんは旧暦7月15日にすべての僧にご馳走を振舞い、亡き母は救われました。

正解者の中から、次の方に粗品を進呈いたします。

- | | |
|-------------|-------------|
| 由良町 岩崎 信子 様 | 由良町 山本 洋子 様 |
| 由良町 中崎エミコ 様 | 由良町 中口小夜美 様 |
| 御坊市 塩田 廣一 様 | 由良町 磯田 由美 様 |
| 由良町 松下 光男 様 | |

「文章のお話し」つつき
ヒダカ 66歳で御影堂が建立し、親鸞さまの像を迎えて完成するんだ。この像の返還については、ナマクビの犠牲があつたんだ。(この話は7月号でしました)その後、本願寺の留守職(門主・住職)を息子の実如に譲り、自分は大坂に移り住んだんだ。しかし、最晩年には、病氣になって山科に戻り、85才で亡くなったんだよ。
ひかり 親鸞さまは90才。蓮如さんは85才と当時の人ではずいぶん長生きね。
ヒダカ お釈迦様は80才。蓮如さんはお釈迦様と親鸞さまの年齢をかなり意識していたらしい。

「不安もまたよし」

埜崎教信

冒頭の言葉は、経営の神様と言われた、故松下幸之助のものである。

私自身は日々不安と向き合い、隣り合わせで生きている。私自身の人生を振り返ってみても不安が連環(輪を連ねたようにつなぎ合わせること)したような人生だったように思う。

学生の頃は、特に人の心の中が分からなくて、人からどう思われているかということに強く不安を感じていた。

大学を卒業してからは、お寺の住職としてや社会人として福祉の仕事をしていくなかにおいて、たくさん悩み、壁にぶつかり、その度にどうしたらよいかと不安に心が覆われ、眠れない夜もたくさんあった。

日常生活においてもたくさん不安を抱えながら私たちは生きている。

例えば都会であれば地下鉄など交通網が整備されているが、和歌山では移動手段として車は欠かせない。いくら気をつけていても不慮の事故に遭う可能性がある。

いかなる業因でどのようになるか分からないのが我々の人生である。車の運転、極論においては外に出たくないとなってしまうが、それでは社会活動がままならない。

しかしながら、その不安に押しつぶされずになんとかやってこれたのは不安が不安で終わらずに、全てとは言わないが、幾らかの不安に対してそれを拭い去るために頭をひねって考えてきたからであろう。

不安がなければ心は平穏であるが、危険を感じることもないし用心することも希薄となる。

また、不安を感じ何とかなしようとするところには何か生まれ、新しい扉が開けてくる。

人間として最大の不安の一つは「死」である。若いときには自分自身が病気になる。死んでゆくという事に対して正直縁が深くないものと考えていたが、40歳近くになってきて、それらのことを深く考えるようになってきた。

俱会一処(くえいいつしよ)の世界に生まれさせて頂ける南無阿彌陀仏が本當に有り難く感じるのである。

私たちの人生は不安と隣り合わせである。「不安もまたよし。」

このような心持ちでおれば人生への向き合い方も変わる、そのように思うのである。



日高組実践運動 食事の言葉を家庭で申しませよう

食前のことば 合掌

●多くのいのちと、みなさまのおかげにより、このごちそうをめぐまれました。

●深くご恩を喜び、ありがたくいただきます。

食事のことば

食後のことば 合掌

●尊いおめぐみをおいしくいただき、ますます御恩報謝にとめます。

(同音) おかげで、ごちそうさまでした。



門徒心得

報恩講

報恩講は、宗祖親鸞聖人のご遺徳を偲び報恩謝徳の思いから勤められる浄土真宗では最も重要な法要です。

その基本形がつけられたのは、本願寺三代宗主覚如上人の時です。永仁二年(1294)、親鸞聖人三十三回忌の際、覚如上人は『報恩講式(ほうおんこうしき)』を撰述されました。聖人に対する深い謝徳の思いを表明されたのです。

以降、報恩講で『報恩講式』が拝読されるようになりました。

さらに、上人は翌年『親鸞伝絵(しんらんでんね)』という宗祖のご生涯の行跡(ぎようせき)を、図絵と詞書(ことばがき)で讀えられた絵巻物を作られ、これも報恩講で使われたようです。

『伝絵』はやがて、詞書の部分と図絵の部分に分けられ、前者を『御伝鈔(ごでんしょう)』と言われ、後者を『御絵伝(ごえでん)』と言われるようになりました。

いずれにしても、覚如上人のこうした著述を通して、本山ばかりでなく、広く一般寺院や門徒宅にも親鸞聖人への謝徳の思いが伝わり、今のような盛大な報恩講が営まれるようになったことに間違いはありません。

本願寺第八代宗主蓮如上人も、覚如上人がお築きになられた「報恩講」の形を受け継がれたのです。

報恩講にお参りしよう

日高組内寺院の報恩講一覧

(確定・報告寺院のみ掲載)

10/20 (土)	21 (日)	信行寺 (衣奈)
11/10 (土)	11 (日)	教専寺 (阿戸) 円明寺 (小引)
11/11 (日)		莊嚴寺 (方杭)
11/17 (土)		宝国寺 (神谷)
11/18 (日)		光専寺 (横浜)
11/19 (月)	20 (火)	円行寺 (小浦)
11/23 (金)		専福寺 (江ノ駒)
11/25 (日)		念興寺 (網代) 覚性寺 (吹井)
12/ 1 (土)	2 (日)	蓮専寺 (里)
2019		
1/ 5 (土)	6 (日)	妙願寺 (志賀)
1/12 (土)	13 (日)	即生寺 (志賀)
1/19 (土)	20 (日)	善宗寺 (志賀)

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) スローガン
結ぶ絆から、広がるご縁へ
 -From tying bonds to great encounters-

日高組内では毎年秋から正月にかけて、各寺院で親鸞聖人の報恩講が厳修されます。10月20日21日の両日には衣奈地区信行寺でおこなわれ、11月中がピークとなります。日高組実践運動委員会では各寺院で開催される報恩講にできるだけ参拝いただきよう推進計画に策定しています。お手次の寺院はもちろん、近隣の寺院の報恩講にもぜひ参拝して、み教えを聴聞させていただきましょう。

組内各地で 報恩講 が始まる



7月26日27日の1泊2日で、教区少年連盟主催の児童念仏奉仕団が行われ、組内からも小学生らが参加しました。児童念仏奉仕団は毎年この時期に行われ、全国各地の子ども達が京都本願寺で両御堂や境内地などで親鸞聖人のみ教えに学び、本願寺の清掃奉仕やレクリエーション等を通して本願寺に親しむとともに、次代をになう宗教的情操豊かな仏のこどもの育成に資することを目的として実施されています。



和歌山教区少年連盟主催 夏休み 児童念仏奉仕団に参加しました



初日はオリエンテーション、開会式、御影堂などの清掃奉仕のあと、龍の子探検隊(クイズラリー)を行いました。二日目、眠い目をこすりながらおあさじに参拝、腕輪念珠づくりのあとご門主さまと記念撮影、ご面接をしました。二日間猛暑の中、友達もでき、良き思い出づくりとなりました。毎年開催していますので、来年も多くのご参加をお待ちしております。

台風21号 日高地方を襲来

9月4日に大阪湾を北上した台風21号により日高組内の寺院(本堂・庫裡・鐘楼など)をはじめ、ご門徒宅や倉庫など広範囲に甚大な被害がでました。被災されました関係者各位には、心よりお見舞いを申し上げます。教区災害対策委員会に被災状況を報告し、被災寺院宛に本願寺より見舞い状とタオルが後日送付されましたので紙面をお借りしてご紹介いたします。

御見舞 浄土真宗本願寺派

合掌

このたびは貴寺には 台風により思い

二〇一八年九月三日 平成三十年

かげない災禍に遭われた

浄土真宗本願寺派 総長石上智康

ことご心痛如何はかり

報恩 教区日高組

かと哀心より お見舞

住職 様

申しあげます

本願寺より お見舞いのタオル

貴職はめき様門徒の

御見舞 京都本願寺

の皆様には今後復興に

お見舞い申し上げます

向けた取り組みに苦勞

先ずは右取り急ぎ



日高組キッズサンガ大好評でした お寺で紙芝居や水鉄砲楽しむ



日高組主催の子どものつどい「キッズサンガ」が8月4日由良町大引の浄明寺で開かれ、組内の児童ら43名、各種教化団体の役員ら50名が参加しました。子どもがお寺に親しみ、世代を超えて本堂を中心に楽しむ機会をと、毎年各地区寺院で持ち回り開催しています。

最初に「らいはいのうた」のお勤めをしたあと、楠原副組長(妙願寺住職)から「食事のこ」とばのお話、いのちをいただいていることなど子ども達に語り、その後紙芝居やレクリエーションで楽しみました。

昨年好評だった水鉄砲づくりは今年も専福寺門徒総代の濱出将俊氏の指導で行われ、子ども達は1本づつ切り分けた青竹にサイズを合わせながら竹棒のクッションを詰め込む作業など苦勞しながら完成させました。完成後は早速水を入れて楽しく遊んでいました。



そのあとすごろくなどのゲームをし、お昼には寺族婦人会のメンバーがカレーライスを用意、「食事のこ」とばを唱和し、いただきます。おかわりをする子らもおり、おやつにかき氷も出され、笑顔満開の一日でした。

組内教化団体の役員の方皆さんも童心に返り楽しんだことでしょう。

夏の思い出
本堂が笑い声であふれる

2018

スーパーボール
すくいやおみやげ
(くじ引き) もあ
り、夏祭りの雰
気が出て子ども達
は大喜びでした。



日高組通信

☆行事報告

◎門徒総代会前期研修会

7月14日、由良町里蓮専寺にて総代会前期研修会が行われ、岩崎部長より「二河白道」について法話形式での研修を受けました。

◎日高組キッズサンガ(子どものつどい)

8月4日(土) 由良町大引浄明寺で開催され小学生43名以上、関係者50名が参加しました。子どもがお寺に親しむ機会にと毎年各地の寺院の持ち回りで開催。紙芝居や水鉄砲づくりなどで楽しみ、子ども達にとつて夏休みのいい思い出となりました。(6・7面に詳細記事)

◎僧侶研修会

日高組内の僧侶を対象とした僧侶研修会が、9月1日由良町衣奈の信行寺にて開催され、葬場勤行を中心とした声明の研修を行いました。組内から7名の僧侶が参加し、講師は和歌山市西覚寺の島和夫住職でした。

◎第三ブロック門徒総研修会

第三ブロック(日高組・御坊組・紀南組)の門徒総研修会が9月29日(土)、日高別院で開催され、3組から210名以上が参集、組内からも60名以上が参加しました。

講師は本願寺派総合研究所教学伝道研究室の菊川一道師で、講題は実践運動のスローガン Dana For World Peace。子ども達を育むためにくでした。

◎仏教婦人会連盟研修会

10月20日、日高別院にて開催、34名の会員が参加し、「阿弥陀様の救い」について聴聞しました。

☆行事計画

◎真宗法座

第10期門徒推進員養成研修

(れんけん) 開講式

12月9日(日)午後一時半から日高町小浦円行寺にて開催予定です。

講師は京都教区山本泉茂師、併せて第10期日高組れんけんの開講式を行います。れんけん受講希望者はお手次の寺院までお申し込み下さいますようお願い申し上げます。

◎第2回組内会

12月15日(土) 日高町志賀即生寺にて第2回組内会を開催します。

第10期れんけん受講者募集

日高組第10期れんけんの受講者を募集します。開講式は12月9日、その後は隔月に12回の研修を受講いただきます。(偶数月第1土曜)

研修内容は①おつとめ②み教え③話し合い法座となっており、③の話し合い法座では人生を問う課題に添って皆さん方が思い思いを語っていただく形式となっています。

この機会に是非ご受講いただきたく、ご案内します。詳細はお手次の寺院まで!

お知らせ

7月26日、由良町里、光専寺住職の北山通昭師が往生されました。生前のご苦勞を偲び謹んで敬弔の意を表します。

ご結婚

10月14日、覚性寺第14世、埜崎教信住職と和歌山市の竹内唯衣さんの結婚式が覚性寺本堂において執り行われました。お二人の門出を謹んでお祝い申し上げます。(一面写真)

読者の声

※「ひかり」の発行ごころうさまです。

楽しいお話もあり、浄土真宗のことや幅広い活動がとても分かりやすいです。ありがとうございます。

※法悦クイズの応募がホームページからでもできるように大変ありがたいと思います。

※熱中症注意報が毎日出て、今年の夏は大変でした。早く涼しい日を待たばかりです。

※教区仏教壮年連盟40周年記念大会に参加させていただきました。樋口強さんの記念講演を聞かせていただきました。人は誰もが悩みや辛いことがあると思います。いつも笑いの人生で生きていこうと思えました。

※連日七月の高温記録は新記録だ。命に危機を及ぼすとも警報されており酷暑のご縁も、今ここに私への豊かな命のご縁と信じていたいものです。

ひかり編集委員会(広報部)では読者の皆さんからの投稿を募集しています。「法悦クイズ」には是非チャレンジしましょう。同時にご意見ご感想を添えていただければ幸いです。